



見立多以盡  
洋行が

深窓の養をもちて。掌の珠。挿の花。と  
 雙親の寵愛ふり。令弱と唱ふる  
 婦女子の身も。て。雷名を  
 五大洲の夷うけの何ぞや。  
 学問の功と。品行の正しけが  
 故なり。好文木は香と慕ふ。  
 野婦鶯も久と枯ぬ。スベルリンの  
 笹のさやう。雨雪の中を厭ひ  
 なく。勉勵が来る春。囀る  
 声は千金乃。月給とらよむ  
 るも。聖經讀鳥と尊まると唯  
 己の学びの一事は己の己。

操觚者 精々筆を以て人述

大獲功  
神



定價五匁  
 九屋町五五七  
 西工月岡米次郎  
 大傳馬町三丁目七番地  
 出板人井上茂兵衛

